

# 金沢区社会福祉協議会の一年 ~平成27年度事業報告・決算の概要~

## I 要援護者への支援

◇地域福祉活動支援

- ・小地域の福祉活動の推進・支援  
地区別計画推進の支援 等
- ・地区社協活動への支援  
地区社協活動費の助成 等

◇障害児者の社会参加の促進

- ・ふれあい交流事業（運動会）の実施  
参加者 約350人
- ・障害児者余暇活動支援事業の実施  
「サマーフレンド」の実施  
参加児童 延べ67人

◇地域の災害時における要援護者支援

- ・災害ボランティアネットワークの推進  
災害ボランティア入門「防災知る講座」  
災害対応シミュレーション  
関東学院大学との協働事業 等

◇福祉サービスの提供

- ・送迎サービス事業  
活動件数延べ 662件、利用登録会員 315人
- ・生活福祉資金貸付事業  
相談件数 延べ945件 貸付件数 19件

◇権利擁護事業の推進

- ・金沢区社協あんしんセンターの運営  
相談件数 延べ3,559件 契約者数 41人

## II 関係情報の発信・共有の推進

◇最新で役立つ福祉情報の提供

- ・ホームページを活用した情報提供

◇情報紙の充実

- ・「福祉かなざわ」の発行 年3回

## III 関係団体・機関との連携強化

◇区内の商店や企業との協働事業の検討

◇福祉啓発事業等の実施

- ・「金沢区福祉保健のつどい」の開催
  - ① 社会福祉功労者表彰・感謝
  - ② 第3期金沢区地域福祉保健計画発表  
講演「つながりde健康づくり～誰もが主役の地域が社会を変える～」



**善意銀行寄託者**（平成28年2月12日～平成28年6月14日）以下の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）  
N・T健康体操、アミーガ（手芸ボランティア）、町屋町内会婦人部、能見台三丁目町内会有志、神奈川土建一般労働組合南横浜支部、いきいきセンター金沢利用者（1階窓口募金箱）、高舟台松寿会、横浜ポートヒルライオンズクラブ、金沢茶道会、富岡六地蔵尊奉賛会、明るい社会づくり運動金沢区協議会 他匿名5件 計 339,064円

## IV 活動の機会等の促進

◇いきいき金沢助成金による活動支援

- ・ボランティア活動・地域福祉活動等への助成  
配分件数112件  
配分総額 10,822,000円

## V 人材の発掘・育成

◇区ボランティアセンターの機能充実

- ・ボランティアに関する相談・コーディネート  
情報提供等の充実  
ボランティア依頼件数 233件  
ボランティア登録（新規）75人、1団体  
(累計) 522人、55団体
- ◇地域のボランティアセンターへの支援
- ・新規開設及び運営への支援
- ・地域のボランティアセンター交流会の開催
- ◇ボランティア団体の活動充実への支援
- ・各種ボランティア講座の開催・組織化支援
- ◇福祉教育の充実
- ・福祉教育の実施  
学校からの相談への対応 10校

## VI 福祉保健活動拠点の運営

◇施設の適正な運営

- ・利用調整会議などを活用した拠点の運営  
利用登録団体127団体  
利用件数 延べ2,551件

### 決算報告

	金額(円)
収入①	56,177,023
支出②	62,755,406
前期末支払資金残高③	28,496,724
当期末支払資金残高①-②+③	21,918,341

### 財産目録

	金額(円)
流動資産①	26,339,917
固定資産②	60,518,634
流動負債③	4,371,576
差引純資産①+②-③	82,486,975

102号 福祉

区民参加の社協広報紙

平成28年8月1日発行

「福祉かなざわ」編集委員会  
社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5

Tel 788-6080 Fax 784-9011

HP <http://www.kanazawa-shakyo.jp/>

Mail [info@kanazawa-shakyo.jp](mailto:info@kanazawa-shakyo.jp)

※「福祉かなざわ」のバックナンバーをご希望の方は、金沢区社協までお問い合わせください。



## 特集

### ボランティア

ボランティアを通じていろいろな人や  
地域と積極的につながりを持ち、いきいき  
と過ごす。あなたも始めてみませんか。

### 笑顔と仲間と 元気な日々



# ・できること、好きなこと、経験を生かして長く楽しむ・

金沢区内でボランティアをしている人たちに聞きました ①きっかけ ②活動内容・やりがい・こころがけていること ③これから始める人へ

## 仲間と一緒に、野島海岸を清掃 「オールクリーン野島ビーチ」に参加している石原千裕さん



昨年9月に行われた野島海岸の清掃活動の様子

- ①山下公園（中区）前の海底清掃活動を新聞で読み、海好きな人たちの集まる市民団体「海をつくる会」に入会。オールクリーン野島ビーチの活動に参加して。
- ②海岸清掃と海の生物調査の手伝いなど。自分の知識・見聞が広がり、いろいろな人と出会えること。コンビニやスーパーのレジ袋など私たちの生活から出るごみが多く、自然を汚していることに複雑な思いです。
- ③私の場合は息子や娘と何かを始めたかった。やってみようと思いついたら、興味を持ったらすぐ行動！です。

## 大切なおもちゃを修理する「おもちゃ病院」ドクター、横浜金沢おもちゃ病院\*のみなさんと藤田民雄さん



釜利谷地区センターのおもちゃ病院で。  
右側奥から2人目が藤田さん

- ①家族にすすめられて、おもちゃ病院を見学してなど、さまざま。日本おもちゃ病院協会の研修を受けてから活動に参加します。
- ②修理がうまくいって、動くようになったおもちゃを手にしたときのお子さんや親、祖父母のうれしそうな顔を見るのがいいんです。
- ③「暇つぶし」では長続きしません。好きなこと・やりたいことを見つけて始めてみませんか。ぬいぐるみの修理もあるので縫い物のできる人がいると心強いです（藤田さん）。

\* 釜利谷地区センターのほか、並木、六浦地区センター、柳町コミュニティハウス、高舟台自治会館でも開院

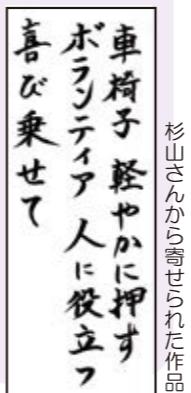
## 外来受付・診察…病院内で依頼者に付き添う杉山喜子さん、依頼者の正木宏政さん



県立循環器呼吸器病センターに、  
正木さんと付き添った杉山さん

「加齢とともに体の  
自由がきかなくなっ  
ているので、付き添っ  
てくれて助かってい  
ます」（正木さん）

- ①定年後の社会貢献を考えてボランティアセンターに登録し、病院付き添いボランティアの研修を受けて。月に数回、ご依頼のある方に付き添っています。
- ②病院で待ち合わせて診察に付き添い、待ち時間の会話を楽しめます。診察後の会計を済ませ、ご依頼をいただいた方が病院から帰るまで見届けます。
- ③できることから始めて、自分にあっているか・続けられるかを見極めることも大切だと思います。



杉山さんから寄せられた作品

## ボランティアセンターだより

紙面で紹介したボランティアに興味を持った  
方は、お気軽にご連絡ください。

金沢区ボランティアセンター

時間：月～土 9:00～17:00（日曜・祝日・年末年始を除く）  
TEL：045-784-2222 FAX：045-784-9011

## あなたを待っている人が、たくさんいます！金沢区ボランティアセンター

金沢区ボランティアセンターでは、ボランティアを必要としている方と、ボランティア活動をしたい方の橋渡しをしています。

高齢になりこれまでできたことができなくなった。また、施設内でボランティアの力を借りたいなど、何かお困りの方はボランティアセンターにご相談ください。ボランティアをお探しします。

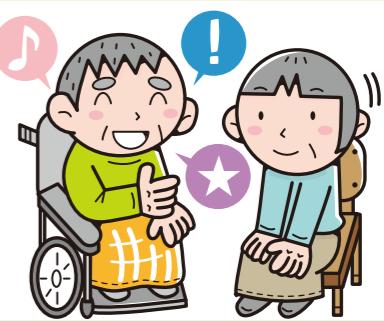
- これからボランティアを始めたい方も、お気軽にお越しください。ご希望に添った活動を紹介します。子供相手や高齢者相手、施設でのお祭りの手伝いなど、さまざまな活動があります。
- 初めてボランティアをする方のためにミニ講座を隔月1回開催しています。詳しく述べ電話でお問い合わせください。



「金沢ひだまりの家」のイベントでバザーを手伝っていた小山さん

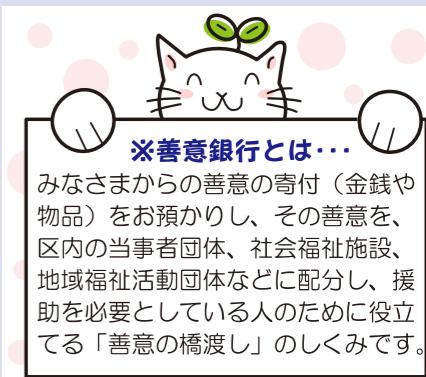
## 施設で行なわれるイベントのバザーを手伝う小山種子さん

- ①保育士として長く働き、定年後、障がい児・者の余暇支援に関わるようになって。ボランティアセンターの情報を見て活動できる日時を選んでマイペースで続けています。
- ②地域ケアプラザでデイサービスの手伝いをしたり、小さな子どもと遊ぶこともあります。たくさんの人とイベントを楽しめることや、参加するたびに知り合いが増えることがやりがいですね。
- ③イベントの手伝いは、みんなで何かをする、やりとげる良さを味わえます。



## 高齢者施設を訪ねて利用者の話に耳を傾ける古澤三代子さん

- ①傾聴ボランティアの活動をテレビで見て興味を持ち、夫と一緒に講座を受けて。始めた頃は週1回、いまは自分のペースで月に数回、風邪気味の時は無理をしません。
- ②訪問すると手を振って迎えてくださる方もいらっしゃいます。話の腰を折らないよう耳を傾け、2時間近くになることもあります。
- ③人と話すこと、話し相手がいることの大切さを切実に感じます。傾聴ボランティアは人材不足です。一人でも増えるといいですね。



### ※善意銀行とは…

みなさまからの善意の寄付（金銭や物品）をお預かりし、その善意を、区内の当事者団体、社会福祉施設、地域福祉活動団体などに配分し、援助を必要としている人のために役立てて「善意の橋渡し」のしくみです。

## 1日100円・1か月で3,000円を善意銀行へ90代男性

※ご本人の希望によりお名前を伏せています